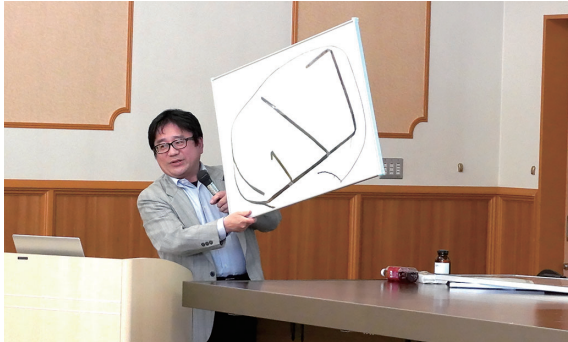


青森のコンブとアマモで地球温暖化を防ぐお話し



アマモの標本を手に講演する石川研究員

4月12日、六ヶ所村泊地区ふれあいセンターにて六ヶ所村読書愛好会(菊池トシエ代表)が主催する「令和7年度六ヶ所村泊地区女性団体研修会」が開催され、当所環境影響研究部の石川義朗研究員が「地球をまもるカイソウの話」と題し講演を行いました。標本等を用い、海藻(コンブ)と海草(アマモ)の違いと生態、青森の海藻と海草、温暖化と水温上昇、魚への水温の影響、アマモによるブルーカーボンへの取り組み事例を紹介し、地元泊でコンブを使った実践可能な取り組みについても提案しました。

植物観察会を開催しました

六ヶ所村立郷土館主催の、大石運動公園の植物の観察会(4月19日)と企画展に合わせたギャラリートーク(5月24日)が行われ、当研究所の山上睦研究員が講師として参加しました。

カタクリ群落再生活動は13年目を迎え、2022年度からエネルギー未来塾会員が毎年種を蒔いています。カタクリは花が咲くまでに最低でも7~8年はかかります。当日は発芽状況と生育年数による葉の形態や葉の枚数の違い、病気の発生と周囲の環境などについて観察しました。関連する情報の詳細は、郷土館まで。



観察会の風景



カタクリ



キバナイカリソウ



オオバクスミレ

産業協議会新人研修会で講演を行いました

六ヶ所村産業協議会が主催する村内企業の新人研修会の一環として、4月15日、中央公民館ホールにて、「放射線と人体への影響」と題し、環境研が進める排出放射性物質影響調査の内容や放射線の基礎知識、人体への影響について、当研究所生物影響部小村潤一郎研究員が講演を行い、参加した皆様に熱心に聴講していただきました。

また、17日には環境研の見学会が行われ、放射線の影響について研究員に多くの質問が寄せられました。



村内企業新規採用者と研究員の対話の様子

むつ子どもゼミナールで科学体験教室

5月25日、むつ市中央公民館で「スライム・プラ板キーホルダーをつくってみよう!」をテーマに科学体験教室が行われ、当所員が講師を務め、小学生約40名が参加しました。スライム体験では、PVA糊とホウ砂水を混ぜるとドロドロの粘性のある物質ができることを学び、プラ板キーホルダーではプラスチックに熱を加えると収縮することを観察し、キーホルダーに仕上げました。

環境研では、六ヶ所村外でも科学体験教室を実施しています。



「は〜い!」元気いっぱいの子も達



スライムにな〜れ



プラ板焼けたかな?

環境科学セミナーを六ヶ所村で開催します

今年も環境科学セミナーを六ヶ所村で開催いたします。環境研、日本海洋科学振興財団の調査成果について、皆様に分かりやすく報告をさせていただきます。詳細は、環境研ホームページで随時ご案内いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

基調講演 函館市マリカルチャープロジェクト
〜プロジェクトが目指すゴールと進展〜
北海道大学大学院水産科学研究院
研究院長 都木 靖彰(たかぎやすあき)氏
日時: 9月12日(金) 13:30~16:10
場所: 六ヶ所村文化交流プラザ・スワニー

お知らせ: サイエンスフェアを開催します



開催日時

7月27日(日) 9:30~15:30

(入場は15:00まで)

環境研では、皆様に我々の活動を知っていただくためサイエンスフェアを開催します。施設の一般公開や楽しい科学体験教室を用意して皆様のご来場をお待ちしています。予約不要入場無料です。当日は、六ヶ所村の研究機関 QST や QSC も一般公開しています。ご家族であそびにおいで下さい。

お問い合わせ先(放射線に関するご質問も受け付けております)



公益財団法人
環境科学技術研究所 共創センター

ホームページ <https://www.ies.or.jp/>
メールアドレス kanken@ies.or.jp

電話(FAX) 0175-71-1240(71-1270)



本誌は青森県からの委託により制作しています。